

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成28年2月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図2）

F 1 噴気孔群の噴気の高さは火口上300m以下、F 2 噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図1-③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図1-④⑤）

GNSS連続観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

次回の火山活動解説資料（平成28年3月分）は平成28年4月8日に発表する予定です。

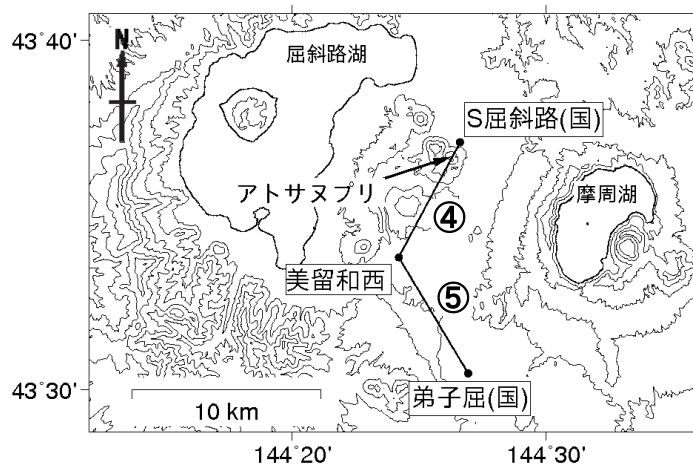
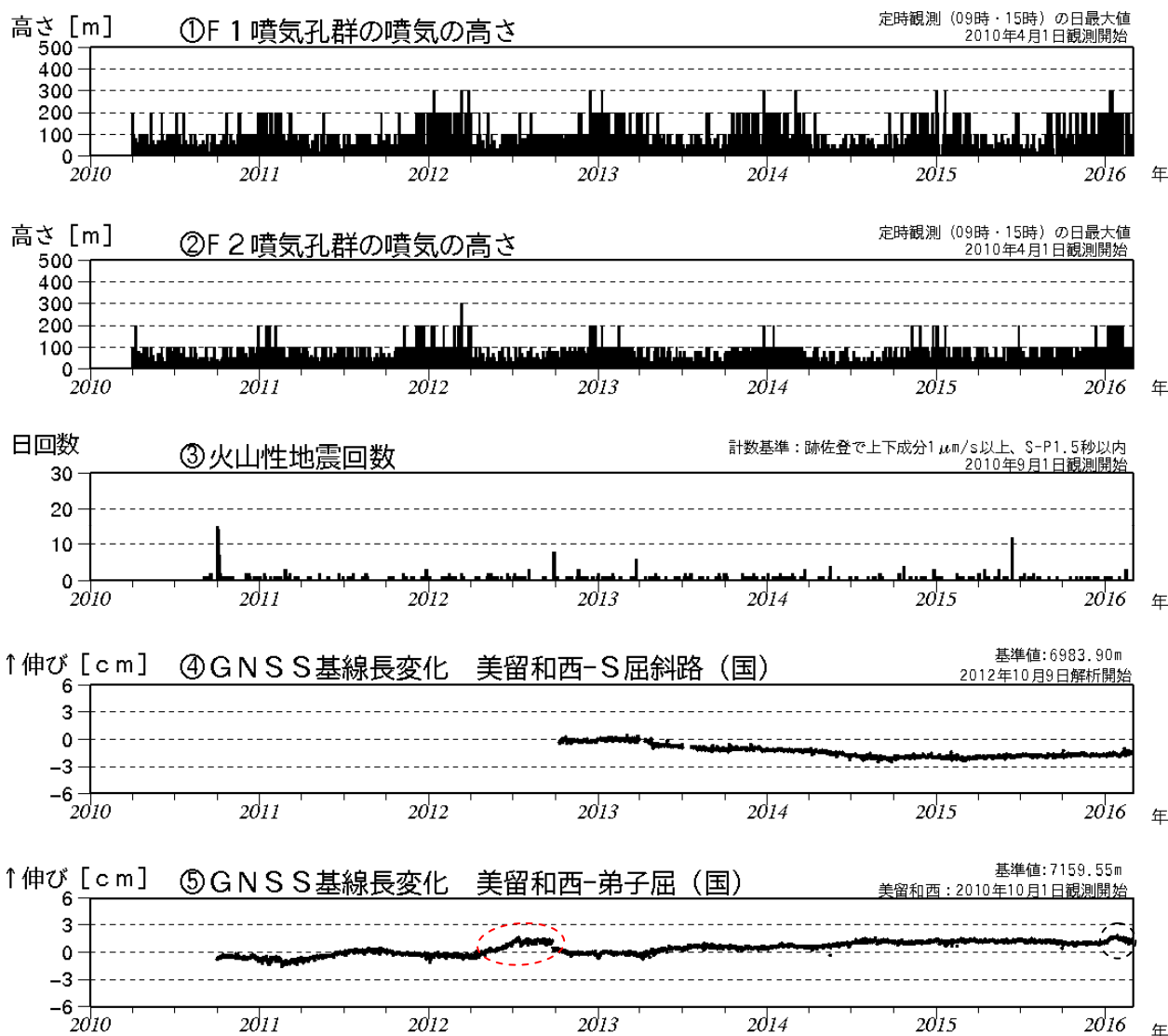


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図（2010年4月～2016年2月）及びGNSS連続観測点配置図

- ・GNSS基線の④⑤は配置図の④⑤に対応しています
- ・GNSS基線の空白部分は欠測を示します
- ・⑤の赤破線円内の変化は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採（2012年9月下旬）によるものです
- ・⑤の黒破線円内の変化は、美留和西観測点の局所的な動きによるもので、火山活動によるものではないと考えられます
- ・(国)：国土地理院



図2 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況
(2月1日、北東山麓遠望カメラによる)

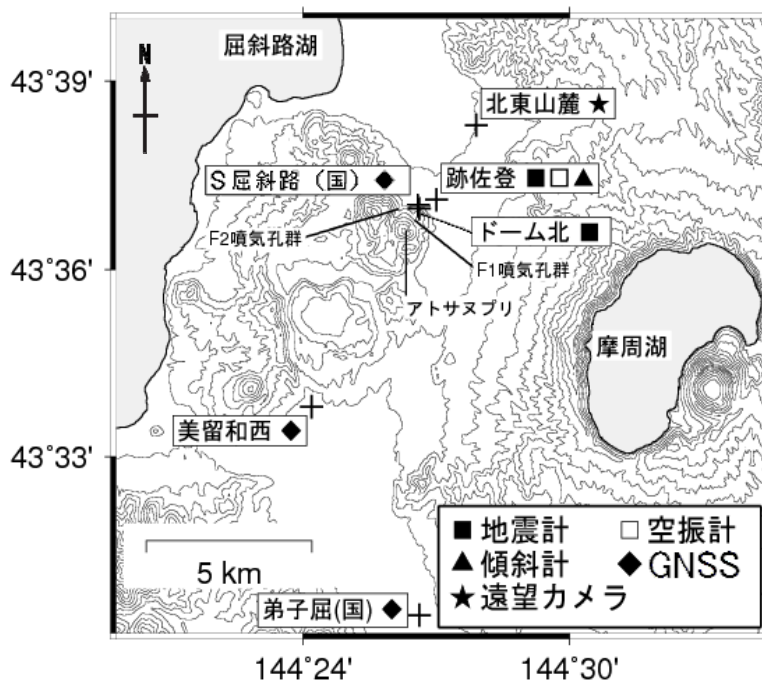


図3 アトサヌプリ 観測点配置図
+印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
(国)：国土地理院